「令和５年度 道内中小企業における業況調査」調査票

1. ご回答は、令和5年7月28日（金）までに右の二次元バーコードを読み取っていただくか、当センターのHPからオンラインフォームに進んでいただき、ご回答下さい。（メールまたはFAXでもご回答いただけます。）
2. 本調査で収集した情報について、データ集計及び施策情報の提供等当センターの運営に必要な業務に限り利用いたします。企業名が特定されるような個々のデータを公表することはありません。
3. 収集した個人情報（企業名、所在地、回答者所属・役職・氏名、電話番号、メールアドレス等）について、ご本人の同意がある場合や法令に基づく場合を除き、第三者に情報を提供することはございません。

≪本調査に関するお問い合わせ≫　公益財団法人北海道中小企業総合支援センター 経営支援部　永山・加来
電話：011-232-2402　　FAX：011-232-2011　　Email：keieishien@hsc.or.jp

Ⅰ. 企業概要

事業者名				所在地	
回答者	所属・役職		電話番号	（　　）　　－	
	氏　　名		E-mail		

メールマガジンの配信を □希望する　□希望しない

[問1] 業種（主要なもの１つに○印をつけてください）
1. 建設業　2. 製造業（食品製造業）　3. 製造業（食品製造業以外）　4. 卸・小売業　5. 運輸・倉庫業
6. 情報通信　7. サービス業　8. その他（　　）

[問2] 従業員数（該当するもの１つに○印をつけてください）
1. ５人以下　2. 6～20人　3. 21～50人　4. 51～100人　5. 101～300人　6. 300人超

[問3] 資本金（該当するもの１つに○印をつけてください）
1. １千万円以下　2. １千万円超～５千万円以下　3. ５千万円超～１億円以下
4. １億円超～３億円以下　5. ３億円超　6. なし（個人事業主）

Ⅱ. 企業概況

(1) 概況、売上高、営業利益

貴社における前期の業況、売上高、営業利益及び今期の見通しについて、選択肢からそれぞれ１つ選んで○印をつけてください

項目	期	選択肢				
業況	前期	1. 好転した	2. やや好転した	3. 変わらない	4. やや悪化した	5. 悪化した
	今期	1. 好転する	2. やや好転する	3. 変わらない	4. やや悪化する	5. 悪化する
売上高	前期	1. 増加した	2. やや増加した	3. 横ばい	4. やや減少した	5. 減少した
	今期	1. 増加する	2. やや増加する	3. 横ばい	4. やや減少する	5. 減少する
営業利益	前期	1. 増加した	2. やや増加した	3. 横ばい	4. やや減少した	5. 減少した
	今期	1. 増加する	2. やや増加する	3. 横ばい	4. やや減少する	5. 減少する
	過去３年の傾向	1. 増加傾向	2. やや増加傾向	3. 横ばい	4. やや減少傾向	5. 減少傾向

(2) 経営上の問題

現在、直面している経営上の問題について、該当するもの全てに○印をつけてください

【販売面】
1. 受注・販売量の減少　2. 受注・販売価格の低下　3. 製造・仕入原価の上昇　4. 営業力の低下
5. 取引先・販路等の確保　6. 在庫の負担増　7. その他（　　）

【人材面】
1. 後継者の不在　2. 管理者の不足　3. 技術者の不足　4. 営業要員の不足
5. 若手従業員の不足　6. 従業員の高齢化　7. 定年延長への対応　8. 過剰人員
9. その他（　　）

【設備面】
1. 設備の陳腐化・老朽化　2. 設備能力の低さ　3. 設備稼働率の低さ　4. 過剰設備
5. 設備不足　6. その他（　　）

【資金面】
1. 金融機関からの調達難　2. 運転資金の不足　3. 設備資金の不足　4. 売掛金の回収難
5. 金利負担　6. その他（　　）

(3) 経営上の問題への対策

経営上の問題解決に取り組みが必要と思われる対策について、下記から優先度の高い項目を５つまで選択し、回答欄にご記入ください

1. 生産コストの削減　2. 販売コストの削減　3. 営業力の強化　4. 新製品等の開発
5. 新市場の開拓　6. 新分野への進出　7. 海外市場への展開　8. 後継者の育成
9. 従業員教育の実施・強化　10. 従業員の新規採用　11. 従業員の削減　12. 技術力の向上
13. 品質の向上　14. 知的財産の活用　15. 情報通信技術の活用　16. 設備・機械等の新規導入
17. 遊休資産の売却　18. 資金の確保　19. 財務管理の強化　20. その他（　　）

回答欄	①		②		③		④		⑤	

（次頁へ続く）

Ⅲ. 人手不足について

[問1] 従業員の過不足感について、該当するもの１つに○印をつけてください。

1．不足　2．充足　3．過多

[問2] **問1**で「**1.不足**」を選んだ方のうち、要因と思われるもの全てに○印をつけてください。

1．条件に合う人材の応募なし　2．労働環境が厳しい(労働時間・転勤など)　3．給料・賞与の水準
4．中途退職・離職者が多い　5．資格や高度な技術が必要　6．高齢化による退職者の増加
7．業界自体の人気がない　8．自社の認知度が低い　9．その他（　　）

[問3] **問1**で「**1.不足**」を選んだ方のうち、人手不足への対応として検討しているもの全てに○印をつけてください。

1．給料・賞与水準引き上げ　2．就業環境の改善(休日の増加など)　3．福利厚生の充実　4．設備導入やIT 化よる省人化
5．女性・高齢者の活用　6．障害のある方の活用　7．定年延長や再雇用　8．その他（　　）

Ⅳ. 原油･原料価格の高騰等によるコストの変動とその影響について

[問4] コストが上昇したものとして、該当するもの全てに○印をつけてください。

1．材料費　2．商品等仕入価格　3．燃料費　4．光熱費　5．外注費　6．輸送費　7．人件費
8．その他（　　）

[問5] コストの上昇による経営の状況について該当するもの１つに○印をつけてください。

1．すでに限界　2．厳しいが事業の継続は可能　3．影響はあるが現時点では余裕がある　4．影響を受けていない
5．わからない

[問6] コストの上昇を自社の製品・サービスの価格に転嫁できていますか。該当するもの１つに○印をつけてください。

1．価格転嫁できている　2．概ね価格転嫁できている　3．一部しか価格転嫁できていない
4．ほとんど価格転嫁できていない　5．全く価格転嫁できていない　6．価格転嫁するほどの影響がない

[問7] **問6**で「**3. 一部しか価格転嫁できていない**」または「**4. ほとんど価格転嫁できていない**」、「**5. 全く価格転嫁できていない**」のいずれかを選ばれた方のうち、その理由として該当するもの全てに○印をつけてください。

1．取引先との関係を維持するため　2．競合他社との価格競争があるため　3．交渉したが、断られたため
4．価格に転嫁しないようにしているため　5．その他　（　　）

Ⅴ. 脱炭素について

[問8] 脱炭素、ゼロカーボン、カーボンニュートラル（以下、「脱炭素」という）につながる取組みの実施状況として、該当するもの１つに○印をつけてください。

1．実施している　2．ある程度実施している　3．実施していない　4．わからない

[問9] **問8**で「**1. 実施している**」または「**2. ある程度実施している**」を選んだ方のうち、取組みを行った理由として該当するもの全てに○印をつけてください。

1．社会貢献　2．コスト削減　3．金融機関からの融資獲得　4．経営上の優位性確保
5．取引先等からの要請　6．人材獲得の強化　7．その他（　　）

[問10] **問8**で「**1. 実施している**」または「**2. ある程度実施している**」を選んだ方のうち、実施内容として該当するもの全てに○印をつけてください。

1．省エネルギー　2．再生可能エネルギーの利活用　3．リサイクル　4．人の移動の抑制　5.食品ロス削減
6．環境保全活動への参加　7．脱炭素型製品の選択　8．その他（　　）

[問11] **問8**で「**3. 実施していない**」または「**4. わからない**」を選んだ方のうち、取組みを行ううえでの課題として該当するもの全てに○印をつけてください。

1．コストがかかる　2．手間がかかる　3．資金が不足している　4．ノウハウや人材の不足
5．従業員の協力が得られない　6．どう取り組めばよいかわからない　7．特に課題はない
8．その他（　　）

Ⅵ. ご意見等

[問12] 当センターに期待する支援内容等について、該当するもの全てに○印をつけてください。

1．経営コンサルティング　2．技術相談　3．事業承継相談　4．新製品・新技術開発
5．販路開拓・取引拡大　6．人材育成・確保　7．設備資金　8．中小企業施策情報
9．金融支援　10．その他（　　）

自由記述欄	（各設問に対する意見やその他のご意見・ご要望等があればご自由にご記入ください。）

ご協力ありがとうございました。